

# 販売車購入 ネットで応援

障害者就労支援施設「あるく」  
「カラル」を運営するカタリスト  
(名古屋市中区)は、本などの  
移動販売車を購入するため、イン  
ターネットを通じて資金を募るク  
ラウドファンディングを実施して  
いる。障害者の社会活動を広げる  
狙いで目標額は百二十万円、期間  
は十二月二十六日まで。

同社は県内九カ所、県外二カ所  
の施設で就労を支援。利用する障  
害者たちが古本、衣服、パソコン  
の回収、販売をしている。販売す  
る際は、事業所や倉庫から古本を  
車に積み込んでイベントに出掛け  
ているが、同社の松下敦士社長  
(☎)は「本は重く時間も労力もい  
る。専用の移動販売車があれば、  
少ない人手で、行ける場所も増え  
る」と話す。

あるく大府駅前(大府市)のサ  
ービス管理責任者で介護福祉士の  
山村俊之さん(☎)は「障害者雇用  
への関心が高い大企業と違い、中  
小企業の多い地域では、古本の回  
収、販売がきっかけで施設と企業  
とつながることがある」と、本の  
移動販売の重要性を説く。

## 障害者就労支援会社

### 「カタリスト」が募金

クラウドファンディングの大  
手、レディーフォー(東京)のサ  
イトで募っており、期限内に調達  
できれば、中部電力が目標額と同  
額拠出する仕組み。応募は「レデ  
ィフォー あるくカラル」で  
検索。ネットを通じた募集が原則  
だが、分からない場合は各施設で  
対応する。

☎あるく伏見 052(22  
8)0470  
(栗山真寛)



古本の移動販売車購入の協力を呼び掛ける松下  
社長(左奥)ら=大府市のあるく大府駅前